

平成27年8月3日（月曜日）

日本教育新聞 2面 ニュース・解説ページ ニュースファイル欄

■「言葉の暴力」大幅増に―千葉市教委

千葉市教委はこのほど平成26年度分の小・中・特別支援学校・高校の児童・生徒、保護者、教職員を対象にした体罰、セクシュアル・ハラスメントの調査結果をまとめた。体罰は前回調査12件が13件。セクシュアル・ハラスメントは児童・生徒からの回答で、小学校が前回調査の23人から61人に、同様に中学校は前回調査34人が164人へと増加した。高校は前回調査より減少、特別支援学校は前回同様0人。

また、26年度調査では「言葉の暴力」を別項目として調査。全体で183件と昨年度25件を大幅に上回った。主な内訳は、身体や容姿（10件）、人格や能力（142件）、威嚇や脅し（31件）など。

■保護者対応で手引―学校リスクマネジメント推進機構

学校リスクマネジメント推進機構（宮下賢路代表）はこのほど、「すごい！ 保護者クレーム対応マニュアル」を発行した。全7章構成で、保護者からのクレームへの基本的な構えやコミュニケーションの技術、怒りをコントロールする方法などをまとめた。初期対応で最も重要なのは、相手の不快や不安な気持ちを回復



することと指摘。相手の話を最後までしっかり聞いた上で、「貴重な指摘をありがとうございます。気が付きませんでした」と伝えるなど、問題化するリスクを大幅に下げる具

体策を多数示した。定価1512円。
同機構 ☎03・3221・5657